

人・鳥・湿地—私たちが共有する世界

- 1 自治体名：黒龍江省(HeiLongJiang)
- 2 発表者名：範 楚寧(FanChuNing)
(ハルビン市宣慶(QingXuan)中学校2年生)
(活動グループ：中国黒竜江省北東アジア地域中学生環境体験団)
- 3 活動期間：2014年～
- 4 活動場所：黒龍江省
- 5 活動名：人・鳥・湿地—私たちが共有する世界
- 6 活動をはじめた経緯

小さい頃から、いろいろな湿地に行ったことがあり、湿地の美しい景色がしばしば記憶によみがえり、湿地について調べたくなり、湿地の自然を守りたくなった。

7 発表要旨：

① 活動の内容

かつて行ったことのある湿地にもう一度行く。私の故郷は中国の最北に位置し、私は今まで多くの湿地に行ったことがある。有名な湿地—チチハルジャロン自然保護区、鷄西興凱(JiXiXingKai)湖湿地、大慶(DaQing)ドルボド湿地、また、内モンゴルの根河(GenHe)湿地などに私の足跡を残している。

② 活動の感想

人類の発展は自然に無関係ではない。人・鳥・湿地の互いに依存する関係も変えられない。持続可能な発展を遂げるために、人類の文明と自然の進化のバランスを保てるよう心がけなくてはならない。地球の未来を担う我々としては、自然界の仕組みや環境問題の深刻さについて把握し、環境保全に関する法律・法規を守り、また、自発的に環境保全の義務を果たさなければならない。そうでないと、私たちの未来が自分たちの手によって壊されてしまうに違いない。

私たち中学生はまだ、湿地の保護に関する政策や法律の制定にかかわることができないものの、日常生活の中で、湿地に関する知識を宣伝したり、できるだけ多くの人に湿地の保護に関心を持ってもらったり、湿地保全に関わってもらったりすることができると思う。私たちは、人々に、有毒・有害な廃棄物や汚水を湿地、河川または湖沼に排出しないよう呼びかけるべきだと思う。